

5年生、見出しに挑戦

江戸川・二之江小で出前授業



二之江小学校で行われたNIEの出前授業
＝31日、東京都江戸川区（寺河内美奈撮影）



といった力作も生まれ、小池正宗さん(11)は「見出しを付けるのは難しかったけれど楽しかった。これからは服のリユースで誰かを助けたい」。長谷川亜希さん(11)も「新聞を作っている人が、どうやって仕事をやっているか少し分かった」と笑顔で振り返った。

学年主任の松田マユミ教諭は「本物の新聞に触れて、環境や自分たちができることを考える貴重な機会だった」と話した。

◇
出前授業などのご相談、お問い合わせは、NIE事務局 (nie-tokyo@sankei.co.jp)で受け付けています。

「捨てるはずのものも、誰かの応援につながる」と話すと、児童らは驚いた表情を見せた。

続いて児童らは、年間約95万トに上る不用衣類の多くが焼却される記事を読み、それぞれ見出しを考え「もったいない 95万トの服『洋服はごみなのか』

東京都江戸川区立二之江小学校（大須賀慎一校長）で31日、教育現場で新聞を活用するNIE（ニュース

東京五輪・パラリンピックを前に、ボランティア精神などを学ぶ授業の一環。産経新聞社で古着の再利用（リユース）を推進し、パ

ペーパー・イン・エデュケーション）として、産経新聞社員による出前授業が行われ、5年生が実際の新聞

記事を読んで見出しを付ける作業などに挑戦した。

出前授業は、2020年